

ご両親も重要です 子供を助ける – 暗算

私達が毎日している大部分の計算は暗算でします。計算によっては紙と鉛筆又は計算機が必要と感ずることがあります。ダーツやトランプのゲームをするとき又はリーグ戦のゲームを見ているときでも、何度も暗算をしています。勝つのに何点取らないといけないか、何回のコンバートされたトライで得点をとれるか、そして時間は十分に残っているか。

旅行、支払いの分担、買物、スポーツをする又は観戦する、食事の準備ではすべて暗算を伴います。暗算で物事を計算するときに使用する方法は、合計を書き留めるときに使用する方法と必ずしも常に同じではありません。

暗算に関するプロセスは多くの子供にとって、また多くの大人にとっても謎です。998 x 3 の計算は、頭の中で3000 から6 を引けば答えが得られることに気が付かなければ、ペンと紙を使っても難しい計算です。

それでは子供はどのようにして暗算を学ぶのでしょうか。

子供は自分で見ることの出来るものを数えることから始め、物を使用して足算・引算をします。練習によって、子供は物を使用せずに、足算・引算をする方法を考え始めます。子供が暗算で2つの数の足算を学ぶ初期段階の方法の1つは、大きな方の数に1を足し、その和に1を足すのを続けることです。小さな数の足算ではこれは有効な方法です。子供が大きな数字を扱うようになるにつれ、1を足して計算する以外の多くの方法を開発します。

例えば、 $25 + 89$ の計算をするとき、子供は次のように出来ます。

- 89 を90 とし、次に10とその次に14を足す。
- 20と80を足して100とし、それから9と5を足し、次に100と14を足す。
- 89 に10を2回足し、更に5を足す。

暗算の面白いことの1つは、誰も同じ方法で考えないということです。

家庭で出来ること

- どのようにして暗算で質問に対する答えを出すのか子供に聞く。あなたが答えをどのようにして暗算で出すか説明する。子供が暗算で計算できないとき、計算に使用する物を与える。
- お店で買い物をしてお金を払うとき、いくらおつりが来るか子供に計算させる。
- 子供が買い物をするためお金を貯めている場合、それを買うには後いくらお金を貯める必要があるか聞く。
- 買い物をするとき、子供に2つの品物の合計の値段を計算するように励ます。
- さいころを2つ使うゲームをするとき、点の付いたさいころではなく、数字の書いてあるのを使う。
- 2つのチームがするゲームを観戦するとき、子供に得点の差を暗算で計算させる。
- 休暇で旅行するときの費用を子供と一緒に計算する。例えば、1泊70ドルで5泊するなど。

